

フレールベルを憶ふ

Der Weg zum Himmel ist die

Erfüllung der Pflichten der

Erde.

— Pestalozzi —

私達が名もない集會をつくつから早や六年に
なります。花の香を慕つて集つて來る蝶々の様
に私達の憧憬の的天使の様な幼兒——それは私
達が唯一の研究の對象——を中心にして真意義
にふれた研究（換言すれば研究によつて眞に幼
兒の爲にその身心を獻げるといふ聖愛の心にま
で到達する方法）に夜も日も努めて來ました。
私達の同志は數に於ても少なうございます。質
に於ても貧しきものであります。然し天使が住
ふ豊富な天國はかくして私達に與へられるので
ありませう。

努力といふ事は薄べらなものではありませ
ん。研究といふ事は短かい時間で完了するもの

ではありません。真意義の研究は長い間の時と
努力の集積で初めて一つの階段を昇り昇りして
行く事が出来るその過程が尊い價值をつくるの
であります。

研究々と口につてゐる人達にしても真意
義の研究を積んでゐる人は少ないと思ひます。
眞の教育者といふ事は此真意義の研究から湧い
て來た幼兒に對して「離れがたなき心、棄てが
たき心、犠牲を捧げる心」を有したものであり
ませう。

皮層な淺薄な研究、之は反つて世を害します。
害さないまでも少くとも正鵠を失つた事が多く
傳へられます。何にも知らない未熟の人達はそ

れに迷されて其眞髓を誤解する場合が度々起ります。私達同志の者が積年の研究も未だ／＼何等のまとまつた處の業績をしたといふのではありません。長い／＼間の研究によつて之が其の業績だと示し得なくとも少くとも身心を以て幼兒に捧げ様といふ心の萌芽はたしかに出來ました。本眞劍の愛が漸々に中心から出て來ました。かくて初めてフレーベル先生の精神に共鳴する様になつたのです。

たま／＼此處にフレーベル先生の祭典が行はるゝ事になりました。同志の者達は此「子供と共に生活した」偉人を忍び其功績を傳へるといふ事が又先人に對する道の一つでもあらうと考へました。

その先生の大精神に對する憧憬の心より、やむにやまれぬ心より叫んだ私達の衷心の發露をこの貴重な紙面を拜借して載せて頂く事が出來れば光榮と思ひます。たゞ日本の國の一隅で人

にも知れない名もない力のたらない可弱い女達ではあるが、こゝにいふ志を以て絶えず働いてゐる其衷心の發露と思つて下さる方があれば幸いです。(大阪某子)

◎我が憧れの人

大阪御津幼稚園保母 玖 島 くに

春日麗に菜の花に蝶飛ふ今日、逝いた人を紀念致しますには私共保育に携はつて居ります者が集つて、其功蹟を賞へ其美德を忍びます事が、保育者として最も美しい事だと存じます。私は學校で教育史を習ひました時には、深い意味も考へませす只無暗に、一枚一枚頁を繰るに過ぎませんでした。近頃必要に迫られて思はず熟讀精思致しますと、史上に現はれた人々の思想や性格が髣髴として胸に浮び、教育史を繙くと云ふ事がどんなに樂しく又有効であるかと云ふ事が分りました。

扱て今日の逝いた偉大なる教育者フレーベル先

生の御祭典に際しまして、その席末を汚して先生の御肖像に向ひますと、又追懐が新しくなつて丁度生きた教育史を讀む様な氣に滿されます。私はいつもギリシャ時代からの教育史を一枚一枚讀んで行きますうちに、胸に非常な共鳴を與へる偉大な懐しい一教育者がございました、それは誰で御座いませうか、今日お祭り致すフレーベル先生でございませう。

先生は一七八二年四月の廿一日に小さい赤ん坊としてお生れになり、一八五二年六月迄七十歳の長い年月の間殆ど、安な日を送られた事は一日も無かつたのであります。

けれ共それは外部から見た人々の批評でございまして、フレーベル先生の心の中にはいつもチューリッゲンの中の可愛い小鳥が歌ふ様に、又ブランケンブルグの一孤兒院の庭に笑つてゐる花の様に安らかに、平和な氣分で滿されて居つた事でございませう、しかも外部に向つて絶えず、戦

闘を續けて居られたのであります。これを思ひますと我々保母は外部にどんな壓迫がありましたも又批難攻撃が御座いませうとも、大きな自覺と誠意とを持つてこれに戦ひ内部に於ては天使の様な子供を取扱ふ我々でありますから、常に平和な心を持ちながら熱心に經驗研究して行かなければならないと存じます。

年々歳々花笑ふ四月にはこの御祭典が行はれますから私等は其度にこの思ひ出を繰り返して、新しき生命を得たいと存じます。

◎能力本位の教育

大坂中大江幼稚園保母 平尾 久惠

私は能力本位の教育といふことを陳べさせて頂きます、私共は日々斯く大切な幼兒教育に携はりながら其の大恩人であつたフレーベル先生の御人格なり御精神を充分に窺ひ知ることが出來ずに居ますことは誠に慚愧に堪えぬ次第でございませう、

昨今漸々其の著書人の教育の一二頁を繙きまして先生の御人格が如何にも崇高であり又思想が實に至れり盡せりて如何にも深遠であるのに感じ非常に興味を覺えました折柄今日のお祭に遇ひましたので先生を思ふ衷情から一言其の思出を陳べさせて頂くことを得ましたのは誠に身に餘りて有難う存じ上げます。

フレーベル先生は只今のお話の様に十八世紀の大偉人であり又幼児教育上忘るべからざる大教育家でございます、そして私共が日頃痛切に感じて居ります能力本位といふことに非常に御心を注がれた方でございます、即ち先生は各個人が自己の本質(個性)を最も純粹に最も完全に又最も明瞭に表現し得るやう各個獨特の本質を充分發揮させ夫れを正しく純良に導きてこそ眞に教育者の義務であり目的であると各個獨特の能力を非常に尊重されて居ります。

然るに私共は往々其の本末を誤りて單に兜を摺

み三寶を作らば足る様に考へて時には親達や子供の一時の歡心を得んがために未だ充分發達せざる幼児に六ヶ敷きものを強ふることがあり又劃一的に保母の考案したるものを命令的にさせ或は又一人にて出来ること迄助力し與へて受動的の意久地無にするやうなこともあるかの様に考へられます、夫等は皆幼児の能力を無視したる保母本位の教育であつて全く機械的形式主義旨目的模倣と云つても敢て過言でなからうと存じますそして其の弊害の恐しきことは今更申上げる迄もございませぬ、生きた保育者はそれで満足しては誠に濟ないことだらうと存じます先生のこの大精神に鑑みて其の個々の能力に應じたる刺戟と指導とをなし其の最も尊ばれた能力本位といふことを能々味ひ毎日の保育を少しでも有効にしたいものだと思ひます。鶴や三寶やを摺みつゝある間に手や目の感覺を通じて諸能力の發達をはかり以て純粹完全なる個性の基礎能力の萌芽を圓滿に指導し得たならば

今日茲にお祭りする先生の御靈もさぞ御満足に思召さること、信じます。

要するに私共は結果に重きをおきて其の結果に至る迄の経路を軽く見る傾があります私達は摺紙をするのにも只其ものを作るのが目的でなく鶴や龜や三寶やを摺むと云ふ動作其のものが尊いのであります。此頃八釜敷く唱へらるゝ動的教育法自發教育、發動主義教育法とか申すものも皆この大精神の餘韻に外ならぬものであらうと存じます私共幼児教育に従事するものも子供の能力を尊んで其の個性を重く見なければならぬと思ひますフレール先生此の御精神を受け續きて近時其の聲を大きくせられたのは彼のモンテスソー先生でございませう誠に厳しいことを申し上げまして恐縮に存じます。

◎自發活動の尊重

大阪船場幼稚園保姆 櫻井たみ

私どもの日々子供を保育して參りますのに最も尊重せなければならぬ自發活動は實に今日こゝにお祭して御座いますフレール先生の唱へられまして尊い御精神で御座います、先生は此御精神に於て次の様なことを人の教育に述べられて居ります壓迫は奴隸心を生じ規律は盲従を生じ壓制は兒童の天性を破壊し又之を卑屈ならしめ嚴正と峻刻とは強情と不誠實とを生せしむる様になれば教育は全然失敗したものと云はねばならぬ、と申されました、此の壓迫は奴隸心を生じ規律は盲従を生じ壓制は兒童の天性を破壊し又之を卑屈ならしめ嚴正と峻刻とは強情と不誠實とを生せしむる様な結果になるのは私共が自發活動を尊重せないためでありませう。どんな立派な保育案も保育法も又誘導も決して自發活動を没却しては何等の價値なきものと存じます。

私どもが此先生の殘されました幼稚園に居りまして先生の美點を取て次の時代の人に傳へる事は

我々幼稚園教育者の先生に對する徳の一つであらうと存じます。

もし私共が先生のよき處の御精神を汲まずに他の事に走て居りましたならそれは誠に悲しむべき事でありまして此の自發活動と云ふ事につきましては殊更充分意を用ひなければならぬ事と思ひます今日の御祭典に當りまして一言感じました處を述べさせて頂きました。

◎科學的方法

大阪御津幼稚園保姆 長谷川 キヌ

本日は、吾保育界の偉大なる恩人、フレーザー先生御祭典日に當りまして、崇高なる御人格を敬慕するの餘り未熟なる身にも拘らず、思ひ出と致しまして、聊かの談話を御許し下さいましたのは、私として非常に光榮に存する次第でございます。私は嘗て、先生の御著書人の教育に次の様な事の載つて居つたのを、記憶致して居ります。それは

先生が、或る麗かな春の日、書見にも倦み給ひてか、書齋の窓から、つと外を眺めて居られますと直ぐ其下を、日傭人が其子とも思しき五六才の子供と共に馬を牽いて參りました。子供は其手綱の端を、日傭人は子供と馬の中程を、そして樂しげに、長閑なる陽をうけて除、に歩を運んで行きまじた。本當に馬を牽いて居るのは父であります。子供は、馬は自分の意の儘になるものと、思つて居るらしい様子でした。丁度其時、其日傭人の友人らしい人が通りかかりました。其父なる日傭人は、暫く其處で立話をしたのでございます。勿論馬は止りました。けれど前方で専心、馬の手綱を牽いて居つた子供は、急に馬が止つたので、若しか自分の命に背いたのではなからうかと、思つたのでせう、一生懸命力まかせに、手綱をぐいぐいと引きました。然し其父なる人は、唯、「一寸待つておいでよ」と優しく云つたそうでございます。

又、隣の家で同じ年頃の子が、母の命をうけ、

鶯鳥に餌を與へて居りました、所が場所が狭く、爲に雛は稍々もすると、子供の手の範圍内から、逃れようとし、其時、其子は自分の心の爲に何が餌を求めて居る様子でした。所が遂に雛は大道へと逃げ出しました。母は之を見て、『坊や、よく氣を附けないと、いけませんよ』と申しました。

さなきだに、雛の爲に心亂れて居つた其子は、母から此言葉を聞いて、不平に満ち／＼ながら『お母さんは、鶯鳥の世話をするのは、何でもない事だと思つて居るのですか』と、詰問したそうでございます。

之に對する先生の御批評として、子供が、かく両親の仕事に係はると云ふ事に由り、現在又は將來に於て、如何なる發達をなすものであるか、斷言する事は出来ないが、若し、子供を育てる人が、かゝる發達に注意し、之を利用して、子供を育て、行つたならば、將來に於て一層の進歩をなし得るのであらう。と申して居られます。

子供が長上に對して奉仕致します時には、私共が考へますと、極些細な事の様でも子供にとつては、大きな仕事であり、且本眞劍であるのだと思ひます、其時には、諸種の發見も致しませうし、心の餌を得る時でもございませう、そして其間に發達しつゝあるのであると思ひます。

子供が奉仕其他の場合に心の餌を求めて居る時に其状態を察して、適當に之を導いてやつたならば、其子の満足は如何でせう必ず大なるものと信じます。

世の机の上の空論は實際に當つて見ると往々失敗すると申しますが、殊に幼兒保育に於ては然うだらうと存じます。理論のみや、私達の頭ばかりでつくり上げた保育の法は、實際に於て、或は不自然になり、或は應じなかつたりする事を免れ得ないと存じます。どうしても幼兒の實際を觀察し、之を利用して行かねばならぬと思ひます。

純自然な幼兒の表出は實に貴いものでございま

す、其豊富なる様式を備へた、幼児等が、色々の場合に發露した一舉一動を、よく觀察し、更に其原因を考究し、批判を加へ、今後の保育の基と致しましたならば、幼児の自然にも合致する事が出來、又、幼児の眞に接する事も出來ると思ひます。

私共は日常、子供となつて共に遊んで居る内に、其一舉一動をも見逃す事なく、充分觀察して、又よく其を利用し、子供の活動を有用な水流へ導いて行きたいと思ふのでございます。

◎子供よく學べ

大阪江戸堀
幼稚園保母 有 澤 貞

私は今日フレール先生の御祭典に當りましていさゝか先生の御靈をなぐさめ申たいと云ふ考をもちまして御教の一端である子供より學べといふ事について一言述べさしていたいきたいと思います。まず、丁度フレール先生の師匠であるか申しますが、丁

して居ります。此お言葉は我々保育に従事して居ります者はよく味ひ肝に銘じて一日も忘るゝ事なく子供をよく觀察し理解して我々もその仲間の一員となつて共に生活しその一舉一動僅かな表出をも見逃す事なく注意して子供より學び以て幼児保育の資料といたすべきであります。

かのアットヴット氏は保育の第一歩は子供と保母の心の接觸點を發見するにあるといはれておりますが此言葉は我々の忘れてはならない事でありまして此心掛がなくては幼児と共に生活する事も出來ず従つて子供より學ぶ機會も見出せないのであります。

又モンテソリー女史は子供は眞の自由のもとに置けといはれてありますがこれを云ひかへますと幼児全生活の充分なる發達に對してよき機會を與へるといふ事でありましてかゝる環境に子供を置た場合のその表出こそ實に價値あり貴きものであります。大人のとても考へつかぬ様な事も子供は

面白く巧に利用致しますし子供の表出は至つて拙き型によつて現れてくるものでありますから心なき大人より考へますと取るにも足らぬ様な事が多くあります、しかしかゝる拙なき表出もその子供の心裡を充分に理解してやりましたならばそこに價あり貴きものでありますから些々たる表出も歓迎して見逃さぬ様にする事が大切であります今迄申述べました心掛と注意とを以て幼児保育に従事いたしましたならばこゝに我々保母は完全に子供と共に生活する事が出来るのであります。

恩師フレーベル先生の靈のやすらかにねむり給へる碑は、雨にさらされ風に吹れて幾百年の星霜をへたる今日、尙殘つてをり且永久に朽ちない墓銘である我々をして子供と共に生活せしめよといふお言葉を實現する事は出来ると思存じます。

つまり我々が子供より學ばうといはしますならば先其第一歩たる子供と共に生活すると云ふ事が最も大切な事と存じます。

◎ 幼児の遊戯に就きて

大阪區堂島
幼稚園保母

米 谷 フ ク

今日は、フレーベル先生の御誕生日でありますので、紀念のため、御祭をなさいまして、私も亦此處に列席させて頂き、尙ほ其の上に先生が幼児教育に、最も必要で且重大なる意義あるものとせられました、遊戯に就きまして一言述べさせて頂きます事は、私に致しまして誠に光榮と存する次第で御座います。

昔、ギリシヤ時代から此の方、子供の遊戯といふ事に付きまして、多くの人々が集つて色々研究して居られましたが、然し此の遊戯を教育の一方法となさいましたのは、此處に御祭申して御座いますフレーベル先生で御座います。

皆様も御承知の通り幼児は片時も活動せずには居られないので御座います、そして其活動の形式が遊戯となつて表はれて來ますので、幼児に取り

ましては、遊戯は最も尊ぶべき、最も美しき働きで御座います、申し換へますと、幼児の心の必要に應じまして、自然に、自由に活動をいたしまして、心の本質を外部に表はすので御座います、でありますから戦争事、羽根つき等の運動的遊戯にしましても、書き方、積木、摺紙の様な静止的遊戯に致しましても、皆幼児の日常し居ります事は、最も純粹で、最も精神的の活動で御座います。

今日幼児教育上一日もなくてはならない、彼の恩物も、實はフレーベル先生が、千八百三十五年フランケンブルグの青芝の上で、幼児が集まつて毬をなげて遊んで居るのを見て、初めて二十恩物の第一を考へ付かれたので御座います、實に先生は子供の遊びによく注意なされたお方で御座います、幼児が隨意に遊んで居ります時は、極めて自然であります、身體上にも、精神上にも充分發達しつゝある時で御座いますから、危険でない限りは、成るだけ自然に子供自身の好むがまゝに、

遊ばすと言ふ事は、保育上必要な事であらうと存じます、そして幼児が自由に遊んで居ります時は、保姆も其の子供の仲間に入りまして、子供のお友達と言ふ様な氣持ちになりますと共に、子供にも先生が此の中に居るといふ様な事を思はしてはなりません、要するに遊び其のものは子供の生活であり、本眞劍であり、宗教的でありますから、此の仲間入りをして居ります中に、遊び其のものから、何物かを見出さねばなりませんと思ふのであります、フレーベル先生は次ぎの様な事を人の教育に、お書き残しになりました。

『幼児の遊戯は決して輕々しく見るべきものでなく、實に莊重深遠なる意義を有するものである。母たる者よ遊戯を奨勵指導せよ、父たる者よ遊戯を保護して之れを妨ぐる事なからしめよ、眞に人の本性を知る事の出来る炯眼の士は、兒童の隨意的遊戯の中に彼れが將來の内部的生活を達觀する事が出来るのであると』、申されました、私は

先生の此のお言葉を是非學び度いと存じて居る次第で御座います、長々御静聽下さいまして有り難う御座いました。

◎自然に親め

大阪叔幼
稚園保姆 川西 たか

近頃私共若い保姆が寄りまして熱心にフレーベル先生を研究して居りますので、只今迄申された方々は皆同志の方々に御座います。私も今日此御祭典にのぞみまして仲間の人としてこゝに平素の所感を述べさせて頂くことは私にとりまして誠に光榮に存じて居ります。

私共が初夏の朝まだき郊外に出て見ますと道端の小草のひと葉／＼に宿つた朝露のその光は何ともいへない美しさを感じます。そつと近よつてよく見ますとその小さなひと滴にも大きな自然が寫つて居ります。その美しさは眞球よりも、ダイ

ヤよりも、尙一層けだかいものでは御座いますまいか。此自然が現はす美妙な造化の力は、トンナに無情な私達にいたしましたも何うして其儘に見過されませう。

昔ソロモンの榮華を野邊に咲く百合のひと莖にくらべましたお話も御座います。又一輪の花に佛道を悟つた御弟子も御座いました。

フレーベル先生は「自然は人生の母であり田舎は人生の素地である」と申されてゐますが眞に私共常に心せねばならん御言葉と存じます。此大阪のやうな大都會に於きましてはとも人間の眞の感情などは容易に見ることが出来ません。私共の風習を去り更に虚禮と偽善をとり去りますればあの自分達はそれこそ精淨無垢で誠に慕しいもので御座います。

自然を忘れるものは人間の本質を忘れるのと同様であると申しましたが言ひ過ぎではなからうと存じます。他人の教にも「知識は都會で作り人格

は野で作れと申されてゐますがたしかに眞理である
と深刻に感じるので御座います。

フレベル先生は「幼児は自然に親まじめよ」と
仰せられました。が幼児保育の上に於きまして最も
大切なことゝ存じます。

自然の美しさが子供の心にある感じを與へ子供
が自然に對してその美しさを感じて初めてその親
しみを覺えるので御座います。

野や林の中に生ひたち時を移してゐる人達でも
唯茫然として其の美しさを感じずにゐるでは御座
いませんか、この人達は自然に親しんでゐるので
はなくて自然の中に唯生活し唯いきてゐるばかり
で御座います。丁度都會に生れて都の風習に慣れ
その長短善惡に對して何も感じないと同様に眞に
自然を解しない者が總てゝあらうと存じます。

都の子供鄙の子供を問はず保育者は機會のある
毎に適當なる方法によつてこれを指導し能く自然
に親まじめねばならんと存じます。

子供は自然に對しては大人よりもはるかに意味
のある觀察をして居ります。空とぶ鳥を見まして
も道端に咲く一輪の花を見ましても唯その儘に見
過しては居りません。話しても見たり歌つても見
たり畫に現はしても見たり又は其の他のお遊びに
使つて色々な想像をめぐらしてゐるもので御座い
ます。いつかこんなお話を聞いたことが御座います。

或る子供が如何にも嬉しさうな顔をして馬の畫
を書きました。が何故か其馬には澤山の足が描かれ
て居りました。先生は馬は四つ足であるといふ理
由から其相違を正されましたが子供は不思議さう
な顔をしてさうではないといふことを主張いたし
ました。そこで先生は全體其の様な馬が何處に
ましたかと尋ねられますと子供は眞面目な顔をし
てアンコの牧場を走つてゐましたと答へたさう
で御座います。此子供の目には馬の走つてゐる状態
が澤山の足に見へたので御座いませう。然し先生
はその自然のまゝの表顯に對して理解し得なかつ

たので御座います。間違つてゐるといふことは事實にいたしましたも子供の自然觀こそ誠に偉大なるものでは御座いますまいか。

此の様な純自然性の幼兒の保育者といたしまして私共の重い責任をかへり見ますればそも如何なる感じがいたしませうか。

私共の天職といたしまして幼兒と自然、自然と保育といふことを考へまして私共が自然に對して徹底的の理解と其賜物に對して大なる尊敬とにあらがれを持たねばならんと存じます。

赤に染めるも青に染めるも私共の自由といたしますれば保育者として持つ私共の自然觀はより純眞により徹底的に自己をかへり見なければならぬいと存じます。一つの木一つの草にも情を別つやうなゆかしい心根にこの大きな使命を果したいと常々心掛けてゐる次第で御座います。

今日のおごそかなる御祭典に臨みまして崇高なる先生の御人格にあこがれまして教への一端を述べて私共將來の修養の記念と致度いと存じます。

終りに何卒皆様方もこの偉大なる尊敬すべきフーベル先生に就て益々御研究遊ばされんことを切に御望み申し上げます。

（二六三頁兩日物語の續）

子供は餅よりも話の方へ釣り込まれて了ふでせう不圖來客が出来たり用事に起たねばならぬ事も出来たら其れが又何より結構です『お花さんお餅を見てゐて頂戴焦さないやうにネ』母に代つて餅を見守る幼な兒の心理其の注意の働きのモンテソリー以上の教育ではありませんか私は左様思ひます日本では六月の中旬から梅雨と云ふものがあるに定つてある此の雨に對し母親たり教育者たるものは何事か豫め計畫を立て、置かねばならぬ如何でせう此様な幼稚園などで火鉢と網を準備して彼のかき餅焼きを始めたら——園長は笑ひながら——其れとも軍艦が天水を取るやうに其れまで行かぬとも屋根中へ落ちる水を樋か何かで一處に集め水車を廻しコト／＼杵でも打たして見せたら子供は如何に喜ぶでせうか——詩的のやうな園長の談話は盡きさうもなかつた。（國民新聞）